

楓の森アップデート

学校教育目標：夢を持ち 自ら考え よりよく行動できる児童の育成



合志市立合志楓の森小学校
学校だより 第5号

令和5年(2023年)7月10日
文責 校長 佐藤 政臣

7月21日(金)から子どもたちは、夏休みになります。そこで、第5号では、夏休みの過ごし方について考えてみたいと思います。

まず、学校に通学している時は、時間割があり、学習、昼食、休み時間等を学校が管理しているため、それに従っていればいいということになり、それに伴って起床・就寝時間もほぼ安定します。

しかし、夏休みはどうでしょう。夏休みは、概ね「自由」です。ですから、「計画



的に過ごす」こともできますし、「だらだらと気ままに過ごす」こともできます。そのどちらを選択するか…、それも「自由」です。



夏休みをどう過ごす…

～ 夏休みの過ごし方は人生の縮図？ ～

夏休み明けの登校日、「夏休みの宿題が終わらない」といってこまっている子が必ずいます。そのような子は、同じ失敗を毎年繰り返すことが多いです。

では、ここで夏休みの宿題のやり方について、振り返ってみましょう。宿題の取組については、大きく4つのパターンがあります。

- ①夏休みに入ってすぐに終わらせてしまう。
- ②計画的にコツコツと毎日する。
- ③最後の3日ぐらいで終わらせる。
- ④宿題をする気がないので、しない。

この4つのどのパターンで宿題に取り組むかをお子さんと話し合ってみてはいかがでしょうか。

まず「①」は、やるべきことには、すぐに取り組むタイプの子です。このタイプの子は、将来的に目の前のやるべきことを面倒と思わず、片付けていくタイプで、大人になった時、仕事が早い人が多いです。お子さんが、学校の宿題はすぐに片

付けたいというのであれば、それでいいですが、その後、宿題以外の学習(自主学習)に取り組むようにアドバイスするといいでしょう(そうしないと学習しない時間が長くてできます)。私は、子どもと理科の自由研究に取り組みました。長時間かかる取組など、夏休みにしかできないことにチャレンジしましょう。

次に「②」は、自己コントロール力が身につけているお子さんです。このタイプは、目標達成に向けて逆算して計画を立てることができず。前号で書きましたが、学習習慣として身につけている状態ですので、計画的に過ごすことができます。

そして「③」は、期日に間に合うのであれば、「よし」ということでしょうか。しかし、ギリギリにならないとスイッチが入らないという性格になります。それは、面倒なことを後回しにするタイプの人になるということです。このタイプの子は、毎年同じことを繰り返す傾向にあります。子どものころの習慣は、大人になっても同じように繰り返すことが多いでしょう。ですから、このような性格でもできる仕事を探すしかありません。

最後に「④」です。できるのにやるべきことをやらないのは、問題です。これからの人生の中で、様々な困難を乗り越えなければならないのに、それを避けて生きていく人生を送るようになります。

このように考えると、夏休みの過ごし方は、人生の縮図であると言えます。これからの時代は、何をすべきか決められていないことに対して、自分の意志・判断により自ら責任を持って行動する態度が求められます。夏休みを利用して自己コントロール力を身に付けましょう。まずは、起床時間を規則正しくすることです。



学校行事や子どもたちの学習の様子につきましては、毎日ホームページを更新していますので、ご覧下さい

<https://es.higo.ed.jp/kaedenomori/>



楓の森小 HP